

にほんごをまなぼう 19 指導案(例) ふえをふこう

学齢	小学校中学年	テキスト	にほんごをまなぼう1
学習者	落ち着きがなく通級ができない非漢字圏の男子。来日は2回目だが、ひらがなの読みが半分ぐらい。		
備考	1名 非漢字圏		

学習目標
1) 音楽の授業で使うことば 2) 上手です、下手ですがわかる 3) うたいましょ V ましょ がわかる 4) 歌詞を読む(5行ぐらい?学習者の様子を見ながら)
学校の音楽の授業の題材(歌の歌詞、楽譜など)が入手できれば用意し、授業補助につなげる。通級予定の学校で使われる曲をやっておくと学校が楽しくなる

内容	目的
導入	
具体物: ハーモニカ、木琴、縦笛 P58 のイラスト、図鑑の楽器のイラスト T「知っていますか」 S 「はい、知っています」「いいえ、知りません」 T 「木琴です。タガログ語では何と言いますか？」 S 「知りません」	楽器の名前を言いながら、音楽の授業の楽しさを思い出してもらう 好きな楽器があれば、その動詞を覚えてもらう「ピアノを弾く」など
展開	
歌詞のプリントを配る 一緒に少し T「歌ってみましょう」 歌詞を読むことで、日本語の発音練習につなげる 「せかいにひとつだけのはな」 T わざと下手に歌う「下手です」 S や T が上手に歌ったら「上手です(拍手)」	好きな歌だということで一生懸命練習しているので、これを機会にひらがなの読みを練習し、発音を修正する
休憩	
2 時間目: 文字・語彙・表現	
文字、語彙	

<p>(50音表を見ながらでよい) 歌詞カードから知っているひらがなを見つける。</p> <p>いくつか見つけたらその節を歌ってみる</p> <p>「ひとつ」「はな」「せかい」「はなや」「みせ」「きれい」などの単語を認識させる(絵カード) マッチングゲームでもよいかもしれない。</p>	<p>歌詞カードを読める所でも、一文字一文字認識しているわけではないので、文字と音のマッチングをする</p>
<p>まとめ</p> <p>歌詞をノートに書く(宿題)</p>	